



2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

星に語りて

Starry Sky



パブリック版
DVD

きょうされん
40周年記念映画

松本 動 監督作品
バリアフリー版 (字幕・音声ガイド付き)

2011年3月11日 東日本



消えてしまった

障害のある人

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。



障害のある人と支援者

大震災



苦悩する 支援者

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していた。



／きょうされんの紹介／

『きょうされん』では、これまでに4回の映画製作・上映活動を続けてきましたが、40周年記念事業として製作された、今から100年前に精神病者を救おうと奔走した呉秀三の功績を描くドキュメンタリー映画「夜明け前」に次ぐ5回目の今作品は、大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描く劇映画です。

2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震。東日本大震災による傷跡は、未だに人々の心の中に深く刻まれています。

しかし、1万8千人を超える死者の中で、障害のある人の死亡率が全住民の2倍だという事実を知る人は少ないのではないのでしょうか。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を山本おさむ氏の脚本と新進気鋭の松本勲監督によって描き出す群像劇です。実力派俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し、ヒューマニティあふれるドラマが進行します。



当会は結成以来、「わたしたちのめざすもの」を軸に、会員間の交流、学習、要請運動などを通して、小規模作業所問題の解決をはじめ、障害のある人たちのゆたかな地域生活を支える制度づくり、地域づくりをめざしてとりにくきました。国会請願行動や政策提言、要望活動などをくりかえし、政党の枠を越え、政策を通して手をつなぎ、障害のある人たちの施策拡充に努めてきました。また、障害分野のみならず社会保障分野の関係団体と手を結び、大集会や学習会などにも活動の範囲をひろげています。

きょうされんは、1977年に障害のある人たちの願いをもとに、16カ所の共同作業所によって結成されました。現在は、就労系事業をはじめ、グループホームや相談支援事業所など、障害のある人が生きていく上で関わるすべての事業を対象としており、約1,850カ所の会員(加盟事業所)により構成されています。



2014年度からは「あたりまえに働き えらべる暮らしを～障害者権利条約を地域のすみずみに～」を新たな結集軸のスローガンとして掲げました。障害者権利条約に基づいた法整備がなされ、障害のある人々への理解が社会に広く浸透し根付くことで、障害のある人たちが安心して地域生活を送れることをめざし活動を続けています。

の物語。



2011年3月11日 障害者の状況と 支援者の活動を描く 劇映画

脚本 山本おさむ (長崎県出身の漫画家)

代表作: 「そばもん ニッポン蕎麦行脚」「どんぐりの家」(日本漫画家協会賞優秀賞)「赤狩り」

監督 松本 勲

(石井隆、松尾昭典、山崎貴、高橋伴明らの助監督を経て、近年では大林宜彦の監督補佐を務める傍ら、中・短編映画を撮り続け、各映画祭等での受賞数多数)

出演/ 栗田 禎子 螢雪次朗 今谷フトシ 植木紀世彦 枝光利雄 菅井 玲 入江崇史 宮川浩明 生島ヒロシ 赤塚真人
 製作統括/ 西村 直 企画/ 藤井克徳 脚本/ 山本おさむ 音楽/ 小林洋平 プロデューサー/ 新井英夫
 撮影/ 鈴木雅也 照明/ 古橋孝映 録音/ 西岡正巳 美術/ 津留啓亮 編集/ 古賀陽一 スクリプター/ 山下千鶴
 衣裳/ 杉本京加 ヘアメイク/ 清水美穂 ラインプロデューサー/ 赤間俊秀 助監督/ 佐藤 史 制作担当/ 富田政男
 制作プロダクション/ ターゲット 製作/ きょうされん (2019年/ 本編116分+特典10分)

世界16カ国 30の映画祭に選出 16の賞を受賞

第2回 タゴール国際映画祭 2022 障害問題映画賞
 第3回 ドリーマエラ国際映画祭 2021 最優秀脚本賞
 第37回 日本映画復興賞 2019 復興奨励賞
 BEST PICTURE JAPAN HOLLYWOOD CONNECTS 2020
 第5回 ハンディキャップ国際映画祭 2022 PRIX COUP DE CŒUR DE CAZA
 第20回 五大湖国際映画祭 2021 長編部門最優秀賞
 第9回 エリー国際映画祭 2022 長編部門最優秀賞
 第3回 ネオサウス インディペンデント映画祭 2022 最優秀編集賞
 第2回 シネマキック国際映画祭 2021 奨励賞
 チャンピオンフィルムサロン 国際映画祭 2021 奨励賞
 第2回 アショカ国際映画祭 2022 長編部門最優秀賞
 第4回 ブラジル国際映画祭 2022 アジア長編部門最優秀賞
 第2回 アショカ国際映画祭 2022 最優秀俳優賞
 第2回 ナワダ国際映画祭 2021 長編男性監督賞第4位
 第4回 ボルティガル国際映画祭 2021 アジア長編部門最優秀賞
 第3回 ネオサウス インディペンデント映画祭 2022 最優秀美術賞
 第25回 函館港イルミネーション映画祭 / 第11回 江古田映画祭 / 福島映像祭2019 / 第9回 グレンフェスト映画祭 / 第3回 ライジングサン国際映画祭 / 第4回 EQUAL 映画祭 / 第7回 パナマ運河国際映画祭 / 第8回 DEA OPEN AIR 国際映画祭 / 第15回 ロサンゼルス日本映画祭 / 第6回 カナダインディペンデント映画祭 / 第5回 ボーズマン国際映画祭 / 第6回 トロント国際ノリウッド映画祭 / 第2回 オンタリオ国際映画祭 / 第21回 アボリア国際村映画祭 / 第7回 サンタクルス国際映画祭 / 第1回 インフェルノ国際映画祭



館内上映権付 館内視聴可 個人貸出可

【FAX注文書】

商品番号	商品名	数量
SF-5311	DVD『星に語りて (パブリック版)』 ¥18,182 (+税)	
お客様名 ご担当者	TEL	
	FAX	
ご住所		

ご注文・お見積依頼は
FAX. 048-481-0752
 お問い合わせは TEL.048-481-2188

新しい視覚で図書館を考える
 社会福祉法人 埼玉福祉会
 図書館事業部 図書館用品販売課 (AV係)
 〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-7-31
 ホームページ <https://www.saifuku.com>
 Eメール shohin@saifuku.com

※送料は無料です。 ※当チラシの内容は予告なく変更する可能性があります。
 ※ご注文用紙でいただいた情報に基づき、製品やサービスのお知らせなどをお届けする場合がございます。ご不要なお客様はご連絡ください。

問い合わせコード **SF-059** 2023.5